

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	市民	I T時代への対応、電子自治体構築など情報化を図り個人情報を守る
現状・課題	特定個人情報保護に係るセキュリティ強化のため、取扱い事務及び担当者の明確化を図り、定期的な内部監査を実施する必要がある。また、システムの安定運用・保守体制強化も課題である。	
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市地域情報化計画
事務事業概要	住民情報を取り扱う基幹系業務システムの保守管理等を行う。	
令和3年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	基幹系システム・住基ネットシステム保守管理業務委託	システム保守委託一式
	基幹系システム・住基ネットシステム機器保守	機器保守委託一式
	統合型地理情報システム保守管理業務委託	システム保守委託一式

事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	69,154,000	65,320,000	33,496,000
		補正・流用等	円	-1,480,000		—
		合計	円	67,674,000	65,320,000	33,496,000
	決算（見込）額 A		円	65,365,287	65,320,000	—
	財源内訳	国庫支出金	円	2,391,000	3,267,000	1,064,000
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
	R2は予算額	一般財源	円	62,974,287	62,053,000	32,432,000
	正規職員数		人	1.18	1.93	1.58
	人件費 B		円	7,601,560	12,487,100	13,945,080
総事業費 A＋B		円	72,966,847	77,807,100	47,441,080	
市民 1 人当たりコスト		円	1,715	1,836	1,126	

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	基幹系業務システムの安定的な運用及び機能拡張により、住民情報を取り扱う重要業務の継続性と個人情報保護の安全性を保持する。						

事務事業名	基幹系電算管理事業	部・局	総務部
		課・室	政策情報課
		係	情報統計係

[illegible]